オレンジランナー ORANGERUNNER

大久保陽一後援会新聞 Vol.10(2019年7月号)

皆さまの声を大久保陽一にお聞かせください

宍粟市議会議員の大久保陽一です。
みなさまから与えて頂いた議員任期の１４６０日。
走り始めて８００日が過ぎました。
「子育て・教育日本一」の宍粟をめざし、
全力「しっそう」で、奮闘します。
６月議会での質問など活動報告をお届けします。

子どもたちは「社会の宝」です

大久保陽一

全国で子どもたちや高齢者をめぐる痛ましい事件が相次ぐなか、いま求められているのは**「すべての人にやさしいまちづくり」**です。

社会の宝である子どもたちを守り育み、お年寄りが安心して生き生きと暮らせる宍粟市をめざし、大久保陽一は働かせていただきます。

６月議会初日、今後２年間の市議会議員の役割・職務を決める選挙が行われました。私、大久保陽一は、「予算決算常任委員会委員長」「文教民生常任委員会副委員長」「議会政治倫理審査会委員」を務めさせていただくことになりました。

「文教民生常任委員会」は、市民生活部・健康福祉部・教育委員会・総合病院の所管に属することがらを審査し、市民生活と密にかかわります。しっかり取り組んで、皆さまとの約束(公約)である「子育てと教育日本一」の実現をめざします。

「今やらなアカン！」と走り始めて２年が過ぎました。「変えなアカン」「何とかせなアカン」と思う皆さまの力を集めれば、宍粟市の多くの課題は必ず解決できます。

皆さまから与えていただいた１４６０日。残り６００日余りとなりました。

「主役の市民」を裏方の行政が支える。そんなまちづくりに向けて、皆さまの「声」をしっかりお聞かせください。大久保陽一は全力疾走を続けます。

大久保陽一は、平日午前7時から午前8時までの1時間、山崎町御名セブンイレブン向かいで朝のあいさつをしています。

「家族が亡くなった後に必要な手続きをアドバイスしてくれる行政窓口を」
「リハビリしたい人をもっと積極的に受け入れてくれる『リハビリテーションセンター』を」
「常時、畳が敷かれている柔道場が山崎町内に欲しい」
「夢公園、夏に子どもたちが水遊びできるようにして」
「年金収入で暮らす高齢者の固定資産税を見直して」
「子ども達に宍粟に帰って来いと言える夢ある宍粟市の青写真を」
「JA六リマ・JA兵庫西を問わず、宍粟市内の農産物を販売する施設(道の駅)を」
「圃場整備田を今後どうしていくのかを行政的に考えて欲しい」
「山を活かした山菜園で、観光客を呼び込んで」
「大阪市のような塾代助成事業を宍粟市でも」
「高校生の通学に利用できるよう、しーたんバス時刻表を見直して」

日々の困りごと、教育、市政へのご意見をお寄せください！

大久保陽一後援会にご入会ください。ホームページからも入会できます。

オレンジランナー発行責任者
大久保陽一後援会
事務所　兵庫県宍粟市山崎町野183番地
ホームページ　大久保陽一公式ウェブサイト
http://www.okubo-y.com
Mail yoichi-okubo@meg.winknet.ne.jp
TEL 090-9614-6503　FAX 0790-62-5551

大久保陽一プロフィール

1962年(昭37)4月、山崎町に生まれる。現在56歳。
龍谷大学経営学部卒業。民間企業に勤めた後、佐用、たつの、宍粟市商工会に勤務、北部支所長で退職。
2017年4月宍粟市議会議員に初当選。

【宍粟市議会での大久保陽一の職務】
・予算決算常任委員会委員長
・文教民生常任委員会副委員長
・議会政治倫理審査会委員